

1. この会社が目指す姿が理解できるか

理解できる。「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」を基本とし、世界に食と健康を広げたいという目的が多く記されているため、これらが最も目指している姿であるだろう。加えて、持続的な成長を実現したいという目標もあり、それを実現するために、サラダとタマゴに重点を置いたり、海外に企業の手を広げたり、具体的な数値を示して、それに向けて順調に成長しているなど、様々な取り組みがわかる。このように目指す姿が明確かつ誰にとってもわかりやすいものであった。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

理解できる。まずサステナビリティについてである。この会社は卵を殻も含めて全ての部分を有効活用していくことを繰り返し強調しているが、この取り組みを行っている企業は世界でも唯一のメーカーであり、大きな競争優位性があると考えられる。なぜこれによって優位性が生まれるのかというと、資源を無駄にしないことによる環境の配慮、有効活用による経費削減の可能、そして世界唯一という希少性などからである。さらに、主要セグメントをみると、営業利益の約20%が海外からであるが、グローバル化が進む現在、世界にも認められていることは企業にとって優位性があるだろう。この海外進出を支えているであろう取り組みの一つ、各国の文化に合わせた商品の提供は、多様性に富んだこの会社ならではの強みであろう。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解できる。まずサステナビリティについて、この会社の主要な商品であるマヨネーズを作るのに卵黄を使用するが、余った卵白をお菓子やはんぺんなどの材料にする取り組みを行っている。また卵殻も土壌改良材に使用したり、肥料にするなどしてきたそうだ。このようなユニークな取り組みは、優位性を持続させると考える。なぜなら、様々な分野に関わることができるため、より多くの人にこの取り組みの良さをわかってもらえることができ、どんどんこの会社が今後優位になっていくだろうからだ。また、時代にあった変化を行うことができるのも持続性において大切であると考えられる。この会社は生活者の価値観の多様化に合わせて、多様な選択肢を提供している。例えば新たな選択肢としてブランドベースフードの開発を行った。このように変化に合わせて、商品開発を行っていくことで、お客様のニーズに対応できる幅が増えるだけでなく、話題に上る頻度が増えることで購買を望むお客様も増え、競争優位性の維持、向上を今後も続けていけると予想できる。以上のようにキュー

ピーの様々な取り組みを通じて競争優位性が失われないような工夫を感じることができた。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

達成できると考える。本社は2021年-2024年度中期経営計画において、従業員への期待を明確にすることによって、多様な人材が活躍できる仕組みを形成していくことを記している。統合報告書2022（以下報告書）のP.22の従業員への期待の中でも、自らの望む未来に沿った業務を行うことが求められており、各個人の特徴にあった人的資産の価値を向上できると考える。詳しく見てみると、キャリアプランを上司と共有し、実現に向けた主体的な挑戦や学びを上司中心に支援したり、人材の流動化を推し進める政策など、会社としての成長だけにとどまらず、個人として成長ができるような体系が組まれている。

そして新社長である高宮氏は2009年に始まった選抜型経営塾の第一期生であるように、経営層において活躍されている方を多く輩出している経営塾も、今後の自らの能力を存分に引き伸ばすことのできる仕組みだと感じた。

加えて、近年のコロナ禍においてリモートワークが増加しているが、それによってコミュニケーションをとる機会が徐々に減っていることが問題視されている。そうした中、本社は若手従業員と経営層の意見交換会を実施したり、人事本部直通の自己申告制度の採用、さらには従業員相談窓口を設置することでコミュニケーションをとる機会を増やそうという試みを多く取り入れている。つまり、この会社で働くことで、近年失われつつあるコミュニケーションをとることが可能になり、仕事内容をより明確に伝えたり、自らの意見を積極的に発表できたりするようになる。このようにこの会社では様々な面で、自分にあった成長、つまり人的資産の価値を大きく向上できると考えた。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

報告書を読んで、この業界に詳しくない方でも滞りなく読むことができると思う。なぜなら、専門的な単語はわかりやすく説明されていたり、状況が想像しにくい場合でも写真を用いて説明されているからだ。これほどまでに課題、目標、政策がわかりやすい報告書であるため、改善余地を見つけ出すのは難しかったが、強いていうならば報告書P.12のバリューチェーンの取り組みについての取り組みが記されている部分が、このことを知らない方にとってこの取り組みの内容を理解するのが少し難しいかなと感じた。具体的にいうと、様々な課題が複雑に関わり合っているとあるが、どう作用し合っていて、それを解決するには具体的に何をしていくのかが記されていると、誰が見てもこの取り組みに感銘し、支持する方が増えていくのではないかと考えた。